

# 周術期口腔機能管理による歯科医師・歯科衛生士の雇用の目安 —実際に必要な患者数のシミュレーション—

日本口腔外科学会 病院歯科口腔外科推進委員会 委員長 牧 野 修治郎  
日本歯科医学会 平成27年度プロジェクト研究 代表 栗 田 賢 一

## 「がん患者における周術期口腔機能管理の医科歯科連携の 問題点とその対応に関する研究」

本シミュレーションは、新たに歯科医師・歯科衛生士を雇用する場合に、損益分岐点がどの程度であるかを示すものです。本シミュレーションを気軽に使うことで、漠然と考えていた歯科部門の雇用人数の増加を具体的にアクションをおこすための後押しとするために作成しました。マイクロソフト社のエクセルで作成されています。なお、このソフトは、「日本歯科医学会平成27年度プロジェクト研究」の助成にて、日本口腔外科学会（病院歯科口腔外科推進委員会）ならびに日本有病者歯科医療学会からの研究協力者らによって作成されました。

＜＜よって、実際の収益より低い保守的な計算方法の目安です＞＞

シミュレーション方法は2つあります

医事課に相談に行く前に、  
本当に可能かどうかの  
目安を知りたい

簡単シミュレーション

医事課と相談の時に、  
詳細な報告を求められた場合に

詳細シミュレーション

どちらも、学会ホームページよりダウンロードできます